



サーキュラーエコノミーの実現に向けて再資源化の取り組みを強化

株式会社アールプラスジャパンへの出資に関するお知らせ

キューピー株式会社

キューピー株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役 社長執行役員：高宮 満、以下キューピー）は、持続可能な社会の実現に向けて、株式会社アールプラスジャパンに資本参加し、使用済みプラスチックの再資源化事業に取り組みます。

キューピーは、「キューピーグループ 環境ビジョン2050」を策定し、サーキュラーエコノミーの実現を掲げています。その一環として、プラスチックの削減・再利用に関しては、容器の軽量化や再生プラスチック100%のドレッシングボトルの採用、また主力商品であるマヨネーズやドレッシングのボトルの資源循環に向けて他社と協働するなど、さまざまな取り組みを進めています。

本共同出資事業への参画により、使用済みプラスチックの再資源化をさらに推進し、バリューチェーンの一員として持続可能な社会の実現に貢献していきます。

共同出資事業における取り組みについて

当社が参画する株式会社アールプラスジャパンは、米国のバイオ化学ベンチャー企業であるアネロテック社（Anellotech Inc.）とともに、環境負荷の少ない効率的な使用済みプラスチックの再資源化技術開発を進めています。「『すてる』をなくす、『みらい』をつくる。」を企業理念に掲げ、世界で共通となっているプラスチック課題解決に貢献すべく、回収プラスチックの選別処理、モノマー製造、ポリマー製造、包装容器製造、商社、飲料・食品メーカー、銀行など業種を超えた連携により、資源循環スキームの構築に取り組んでいます。

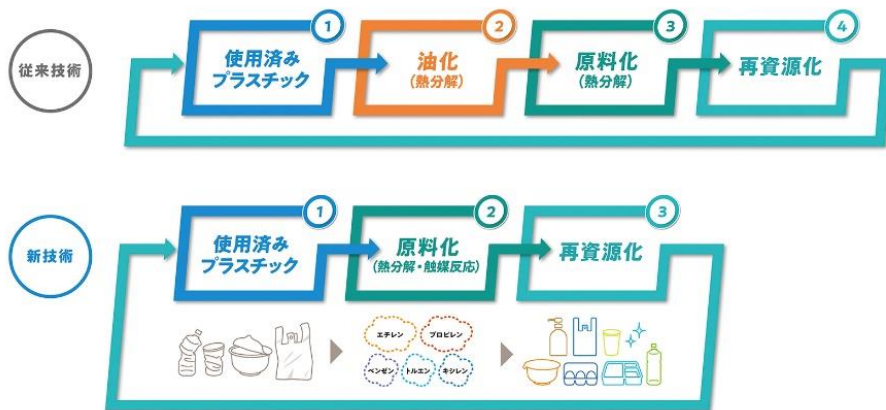
使用済みプラスチックの再資源化技術について

ペットボトル以外のプラスチックは、現在国内では多くが燃焼^{※1}されていると言われています。今回の技術は、ペットボトルを含むその他一般のプラスチックを、直接原料（ベンゼン・トルエン・キシレン・エチレン・プロピレンなど）に戻すケミカルリサイクル^{※2}の技術です。

従来の油化工程を経由するケミカルリサイクルよりも少ない工程で処理でき、CO2排出量やエネルギー必要量の抑制につながるものと期待しています。この技術が確立できれば、より多くの使用済みプラスチックを効率的に再生利用することができると考えています。

※1 焼却時に発生する熱を回収し、発電や熱供給に活用するサーマルリカバリー（熱利用）を含む

※2 使用済みの資源をそのままではなく、化学反応により組成変換した後にリサイクルする



■ 共同出資会社の概要

会社名 株式会社アールプラスジャパン
 事業開始 2020年6月5日
 本社所在地 東京都港区台場2-3-3
 代表取締役社長 大竹 篤
 事業内容 使用済みプラスチックの再資源化技術の開発・実用化推進

参考：アネロテック社 (Anellotech Inc.) について
 2008年創業。米国ニューヨーク州パールリバーに本社・研究開発機能をもつバイオ化学ベンチャー企業。非食用の植物由来原料から石油精製品と同一性能を持つベンゼン・トルエン・キシレンを生成する技術を保有している。

【参画企業一覧】

